

特集

3-2

金融経済教育の実践例②

高等学校における金融経済教育の実践



梶ヶ谷 穰 Kajigaya Yutaka 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師
 神奈川県立厚木高等学校、海老名高等学校等の教諭を経て現職。公民科(「現代社会」、
 「政治・経済」)を担当。海老名高校で「海老名高校消費・経済研究会」を発足。生徒の
 自主サークル活動の顧問として「金融経済教育」や「消費者教育」を実践・指導。



高校「公民科」授業での 金融経済教育の展開

日銀のマイナス金利政策によって、銀行の預金金利や住宅ローンの金利はどのように変化するのか。こんな「金融経済の課題」や「お金」について高校生に考えてもらいたい、考えさせたいと思ってきました。高校公民科の学習指導要領解説では、金融分野の学習内容として、金融の機能や役割、金融市場、金融制度、中央銀行と金融政策など主に金融のしくみを理解させ、さらにキャッシュレス社会や金融商品の多様化、契約の重要性などが規定されています。

また具体的な授業実践において、学習指導要領解説同様にその指導指針として、金融広報中央委員会の『金融教育プログラム』があります。同委員会発行の教材である『ビギナーズのためのファイナンス入門』の用語を定期試験でも出題、また『これであなともひとり立ち』はいくつかのテーマを選び授業で活用しました(写真1)。

さらに「現代社会」の授業では基礎知識の定着と、より生徒の興味や関心を高めるために『ケーザイへの3つのトビラ』(証券知識普及プロジェクト)から、「生徒が燃える! ゲーム」を活用、「アクティビティ」を実践しました。またパーソナルファイナンスの観点から『きみはリッチ?』(金融広報中央委員会)、『「見えないお金」の物語』(公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会。以下、NACS)を活用しました(写真2)。

ファイナンス・クラブでの 金融経済教育の実践

海老名高校では2006年度以降、金融や経済、消費者問題、そして環境問題などに興味・関心のある生徒の研究サークルとして「海老名高校消費・経済研究会」(以下、海老高「ファイナンス・クラブ」)を発足させ活動を続けてきました。多くの生徒に金融や経済、そして環境や「法」などに興味や関心をもってもらいたいというねらい



写真1 金融広報中央委員会発行のテキスト



写真2 「現代社会」の授業で活用したテキスト

と、公民科授業の実践的なフォローアップ、「シチズンシップ教育」や「キャリア教育」の具体的な実践を目的としています。

当初は十数人だったメンバーも300人を超えました。

このサークルの活動は、基本的にメンバー全

● 金融・経済、消費者問題の主な活動

経済セミナーの開催(放課後・文化祭等)…日本FP協会のインストラクター派遣制度を利用。金利や株式投資、金融商品、「FX」とはなど同協会の『10代から学ぶパーソナルファイナンス』を利用した授業(写真3) ※なお、この講座を受講した3年生のメンバーが、3級FP技能士に合格(2級実技試験一部合格も)
NACSによる消費者問題セミナーの実施(放課後等)
東京証券取引所・日本銀行本店見学(開校記念日に終日のサークルの課外活動として)
厚生労働省による「年金小セミナー」に参加(主に「社会保障・年金」PTのメンバーが参加)
「社会保障(年金)」アンケートの作成と集計(同上PTによる)
専修大学経営学部主催、(株)モスフードサービス協力「高校生のための経営学実践講座」に参加
海老高生の「消費・経済・環境」アンケートの作成と集計・発表
かながわ中央消費生活センターの見学
「金融・経済」に関する課外学習の実施 ※FP受験指導を含む
神奈川県「消費者被害未然防止キャンペーン」の街頭キャンペーン参加協力
認定NPO法人金融知力普及協会・横浜銀行主催 全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園(神奈川大会)」への出場(写真4は全国大会のようす)
日本生命保険相互会社(東京)見学と同社での「生命保険セミナー」へ出席

● その他の主な活動

刑事裁判(横浜地裁)の傍聴(横浜弁護士会のサポート) ※法教育の観点から
高校生の「法・道徳」の意識調査の作成と集計・発表(「法」PT) ※法教育の観点から
かながわ「ハイスクール議会」への参加 ※主権者教育の観点から
アサヒビール工場見学、「サトウキビから燃料を！」小原聡氏(アサヒグループホールディングス株式会社)との懇談会の実施 ※環境教育の観点から
株式会社JR東日本テクノハート TESSEI、東京駅新幹線ホームでの見学会など ※キャリア教育の観点から
「夏期法教育講座」(横浜弁護士会等主催)へ参加 ※法教育の観点から
「エコプロダクツ展」海老高ブースでの展示・発表活動(「CSR報告書」レポート、「エコ弁当」の作成・展示、主に「エコ弁当」PT) ※環境教育の観点から
「キャリア教育講演会」後、講師の弁護士・宇都宮健児先生との懇談会(主に「法」PT)

〔表〕海老高「ファイナンス・クラブ」の活動概要

員を対象としていますが、個々のメンバーの興味・関心により、「消費・経済・環境アンケート」などの5つのPT(プロジェクト・チーム)を発足。このほかにパソコン、イラスト担当小チームも発足させました。海老高「ファイナンス・クラブ」の活動概要は表のとおりです。

このサークル活動は、「フィンテック(ファイナンス・テクノロジー)」が話題となる今日、金融・経済教育の応用的学習の一環として公民科の教科指導と「総合的な学習の時間」、さらに学校の教育活動との連携を重視したものでした。模索の連続でしたが多くの生徒の^{しんし}真摯な要望、サークルの上級生と下級生の連携・協力、加えて外部の多くの組織や機関の多大なサポート、そして教師(顧問)のほんのちょっとの工夫と実践により活動が継続できました。

なお、2015年5月、海老高「ファイナンス・クラブ」は消費者庁の「ベスト消費者サポーター章」を受賞しました。



写真3 日本FP協会のインストラクターによる課外セミナーとテキスト



写真4 第10回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」全国大会のようす(東京)